

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日～令和6年3月31日



一般財団法人機能水研究振興財団

理事長 堀田 國元



令和6年6月

令和5年度事業活動の概要

令和5年度は、堀田國元代表理事(理事長)、菊地憲次(常務理事:事業担当)、小室昭(常務理事:財務担当)、11名の理事(石井良和、石渡幸則、岩澤篤郎、川口寿之、佐藤勉、戸室淳治、錦善則、野田衛、藤原功一、本間茂、森澤紳勝)、2名の監事(八木澤守正、宮下奈穂)の役員体制、および事務局3名(中藤誉子、福島宏和、清水雅俊)体制で事業運営を行った。事業活動に関しては、公益目的支出計画の達成を念頭に、事業計画・予算に基づいて実施した。以下にその概要を示すが、中でも調査研究事業の成果として、空間浄化プロジェクトにおける、「次亜塩素酸水(電解水)を用いた空間浄化に関する指針第一版(安全性情報編)」の刊行、「ダイヤモンド電極を用いた機能水センサーの事業化」に向けた海外特許取得、機能水を使用した消化器内視鏡洗浄消毒装置の使用手引き第3版の制作が挙げられ、また、普及促進事業において JIS B 8701 次亜塩素酸水生成装置の改正、さらに生物安全実践講習会 A コース((公財)レイ・パストゥール医学研究センターとの共同事業)を実施したことが特筆される。

令和5年度事業報告

令和5年4月1日～令和6年3月31日

1. 理事会・評議員会・委員会等活動

1) 理事会

2回開催: 通常2回(第19回6月14日、第20回3月13日)

2) 評議員会

1回開催: 定時1回(第10回6月14日)

3) 委員会

① 飲用アルカリ性電解水評価委員会:

アルカリイオン整水器検討委員会委員がコアとなって構成し、アルカリイオン水の作用機序その他に関する助成研究受託者による成果報告と討論。

- ・ 研究検討委員会: 特定医療研究該当のため見送り

② 次亜塩素酸水生成装置 JIS 化委員会:

- ・ 令和5年8月21日改正 JIS B 8701:2023
- ・ 経済産業省および日本規格協会経由問合せ対応
- ・ 日本品質保証機構 プライベート認証システム広報

③ 内視鏡洗浄消毒器委員会:

- ・ 「対策型検診のための胃内視鏡検診マニュアル」対応
- ・ 機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器の使用手引き第3版制作

④ 空間浄化ガイドライン委員会:

- ・ 次亜塩素酸水(電解水)を用いた空間浄化に関する指針第一版(安全性情報編)刊行

⑤ 賛助会員会合: 普及促進事業報告、調査研究事業報告、新規事業支援・検討

⑥ 機能水広報委員会: 戦略的広報のあり方等について議論

2. 研究助成事業

1) アルカリイオン水の生理作用に関する研究

小山 勝弘 (山梨大学大学院総合研究部・教育学域・人間科学系 教授)

アルカリイオン水が伸張性収縮運動後の筋パフォーマンスに及ぼす影響-疲労抑制効果と回復促進効果-

2) 酸性電解水(次亜塩素酸水)に関する新規用途に関する研究

渡辺 香織 (愛知文教女子短期大学)

現場に則した各種電解水による卵白アレルギー抑制効果の探索

3. 調査研究事業:

1) 共同企画研究

① 次亜塩素酸水を活用した空間浄化に関する研究 ; 機能水工業部会ほか

② ダイヤモンド電極を用いた有効塩素濃度センサーの実装に関する研究 ; ニプロ(株)、(株)コスモテクノ

③ 機能水による消化器内視鏡洗浄消毒器のあり方に関する調査研究 ;

カイゲンファーマ(株)、興研(株)、(株)IHI

2) 研究協力

ルイ・パストゥール医学研究センター公募研究支援

4. 普及促進事業活動

事務局が主体となって以下の活動の企画・実施、あるいは支援を行った。

1) 機能水及び生成器の標準化

JIS B 8701 次亜塩素酸水生成装置 改正

2) 機能水及び生成器に関する正しい知識の普及展示

展示会・講演会など; ifia JAPAN 2023(5月)、食品ニューテクノロジー(11月)

3) 機能水及び生成器に関する情報の発信

① 本・雑誌執筆;

食品化学新聞:月刊フードケミカル(9月)、日本食品工業倶楽部:月刊 食品機械装置(12月)、

日本食品衛生協会:月刊 食品衛生研究(12月)、賛助会員企業広報誌

② ニュースレター刊行: 6回(No.107~112) 号外2号

③ 各種既出版物の頒布

④ 随時ホームページ、SNSにて情報発信

4) シンポジウム・研修会

研修会; ウォーター研究会と同時開催

ウォーター研究会: セミナー共催: 第87回(6月東京)、第88回(10月福岡)、第89回(3月東京)

5) 特別会員等活動支援

① 日本機能水学会第21 学術大会(10月福岡):運営協力

② 日本口腔機能水学会第25回学術大会(3月京都):後援、特別講演協力

③ アルカリイオン整水器協議会: 幹事会6回/年、広報委員会6回/年、広報活動(HP 等管理)

④ 微酸性電解水協議会: 総会2回(臨時4月、総会6月)

⑤ ルイ・パストゥール医学研究センター: 機能水研究に関する活動支援

6) 共同公益事業「生物安全実践講習会」実施

生物安全実践講習会共催(5月、8月、1月)

7) コンサルティング

- ① 生成装置等開発・販売に関する相談業務(賛助会員:無料 一般企業:有料)
- ② 公共団体、一般等からの機能水に関する各種問合せへの対応

5. 組織および規定

1) 役員・評議員: 以下の役員(理事・監事)および評議員からなる執行体制(令和4年6月23日登記)。

【評議員】12名

荒川真一、上沼義尚、川村延彦、小宮山寛機、才原康弘、鈴木鐵也、谷口昌弘、田原周夫、富田 守、
村松光二、堀 晋司、吉川敏一

【理事】14名

代表理事: 堀田國元(理事長)

理事: 菊地憲次(常務理事)、小室昭、(常務理事)、石井良和、石渡幸則、岩澤篤郎、川口寿之、
佐藤勉、戸室淳治、錦善則、野田衛、藤原功一、本間茂、森澤紳勝

【監事】2名

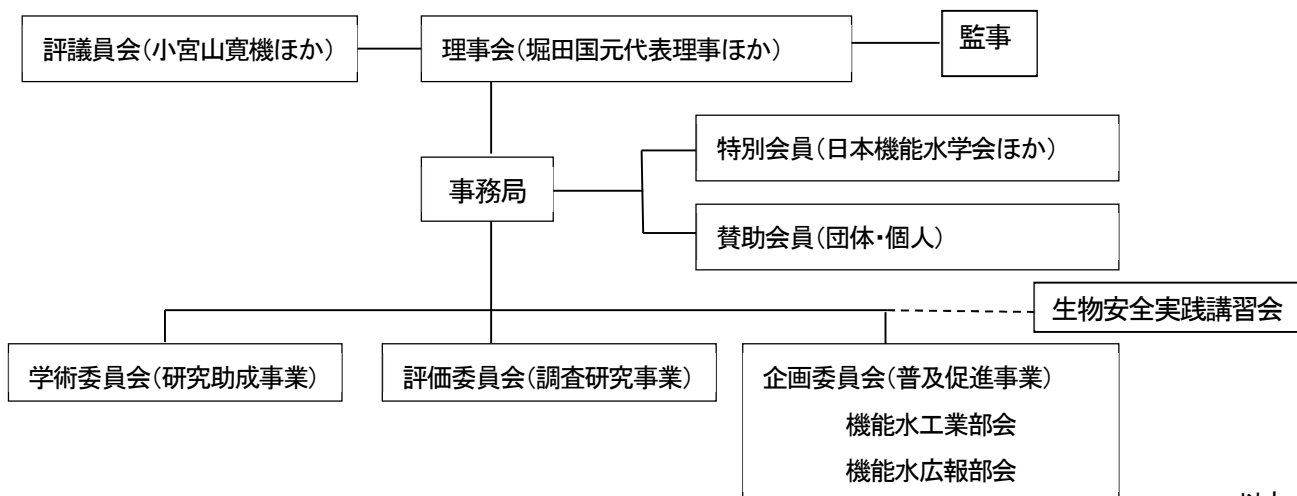
八木澤守正、宮下奈穂

2) 事務局体制

堀田國元(理事長)、秋山(中藤)誉子、清水雅俊(事業担当)および福島宏和(会計担当)の4名体制で業務に当たった。また、理事運営委員(菊地憲次、小室昭)によるチェックと指導を随時受けた。

3) 賛助会員および特別会員

- ① 賛助会員: 令和5年度中1社入会、令和5年度末3社退会 令和5年3月末で団体47社、個人10名。
- ② 特別会員: 令和5年3月末で7団体(日本機能水学会ほか)。
- ③ 機能水工業部会: 企画委員会(普及促進事業)につながり、「空間浄化プロジェクト」などプロジェクト毎に
関係賛助会員による委員会を構成し活動。
- ④ 機能水広報部会: 企画委員会(普及促進事業)として、関係賛助会員による委員会を構成し活動。



以上